

## 鹿児島玉龍高等学校 スクールポリシー

### 【グラデュエーション・ポリシー】(育成を目指す資質・能力に関する方針)

- ・鹿児島玉龍で学んだ生徒は、高校卒業時、次のような成長を果たすことを保障します。
- 1 未知なる未来を平和で幸福な社会として実現させるため、単に学力のみならず、豊かな人間性やそれぞれの進路での自己実現に必要な各種能力を併せ持った人材。
- 2 自らの進路先を、「入れる大学(就ける職種)」「行きたい大学(就きたい職種)」というレベルではなく、「行くべき大学(就くべき職種)」という認識で選択するキャリア意識。
- 3 自らの心身の健康に留意するとともに、共に生きる他者への配慮も忘れず、全ての人の幸福に資しようとする態度と意欲。

### 【カリキュラム・ポリシー】(教育課程の編成及び実施に関する方針)

- ・鹿児島玉龍は、先に挙げた成長を果たさせるために、次のような教育活動を行います。
- 1 学習指導要領記載内容を堅実に実施し、その定着を図るとともに、発展的内容にも積極的に取り組むことで、あらゆる進路志望実現に対応できる力を育成する授業と、そのためのカリキュラムマネジメント。
- 2 真理を探究するために必要な資質・能力・態度を身に付けさせるための授業や諸教育活動の実施。
- 3 学力育成だけでなく、生徒個々の主体性に基づく「もうひとつの柱」を設定させ、その両立を通して学校生活の充実と個々の資質の向上を図らせる諸活動。
- 4 総合的な人間性育成のための、生徒に寄り添いかつ先見性を以て導く生徒指導・進路指導・保健指導。

### 【アドミッション・ポリシー】(入学者の受け入れに関する方針)

- ・以上のことを実現するために、鹿児島玉龍は、次のような人たちの入学を求めています。
- 1 学業はもちろんのことであるが、それに加え、もう一つの柱(部活動・生徒会活動・社会活動・自主研究 等)を設定してそれに真剣に取り組み、学校生活の充実を図ろうとする意欲のある生徒。
- 2 自分とは異なる他者の価値観を受け止めるとともに、自分の価値観との差異を埋めて、共生のための新たな価値観を創造しようとする具体的な努力が実際にできる生徒。
- 3 一度や二度の失敗で諦めるのではなく、工夫を重ね、何度もチャレンジし続けられる再起力のある生徒。
- 4 他者に責任転嫁するのではなく、自らの行動の責任は自分でしっかり果たそうとする、覚悟と勇気と誠実さを備えた生徒。
- 5 将来の自分や社会について、漠然とではあっても考え始めている生徒。